島崎藤村生誕一五〇年

出典：明治学院歴史資料館

2022年11月 YouTube配信

今年は、島崎藤村生誕一五〇年にあたります。

藤村は明治五年（一八七二年）、木曽の馬籠に生まれました。明治一四年、一〇才のときに上京し泰明小学校に入学。明治二〇年に明治学院普通学部本科（現在の明治学院大学）に入学し、在学中に恩師の木村熊二によって洗礼を受けました。

藤村の若き日を、自伝的小説「桜の実の熟する時」にうかがうことができます。

明治三二年、長野県小諸町の小諸義塾に国語と英語の教師として赴任し結婚。翌年に長女、明治三五年に次女、同三七年に三女が生まれます。

明治三八年、小諸義塾を退職し上京。翌年、藤村の二年先輩で、明治学院の教諭兼同窓会の事務を受け持っていた宮地謙吉先生が、井深梶之助総理（現在の学院長に相当）の意向を受けて藤村に校歌の作詞を依頼しました。この時期藤村は、上京からわずか一年ほどの間に三人の娘を相次いで亡くし、明治四三年には妻も失うという不運に見舞われました。藤村は、こうした逆境の中でこの学院校歌を作詞したのです。

学院校歌には、学校名も「神」や「キリスト」の字もありませんが、聖書の言葉がさりげなく込められています。藤村は将来ある学生・青年に対して、新しい時代に希望をもって、一人一人がその道を切り開いて欲しいというメッセージを込め、強く願ったのです。

今回同窓会は、明治学院大学シネマ研究会とのコラボで、馬籠・小諸の藤村記念館を取材、明治学院歴史資料館の協力もいただいて、校歌が作詞されるまでの功績をたどり、映像でみなさまにお伝えすることにいたしました。二〇二二年一一月にYouTubeで配信いたします。

明治学院同窓会

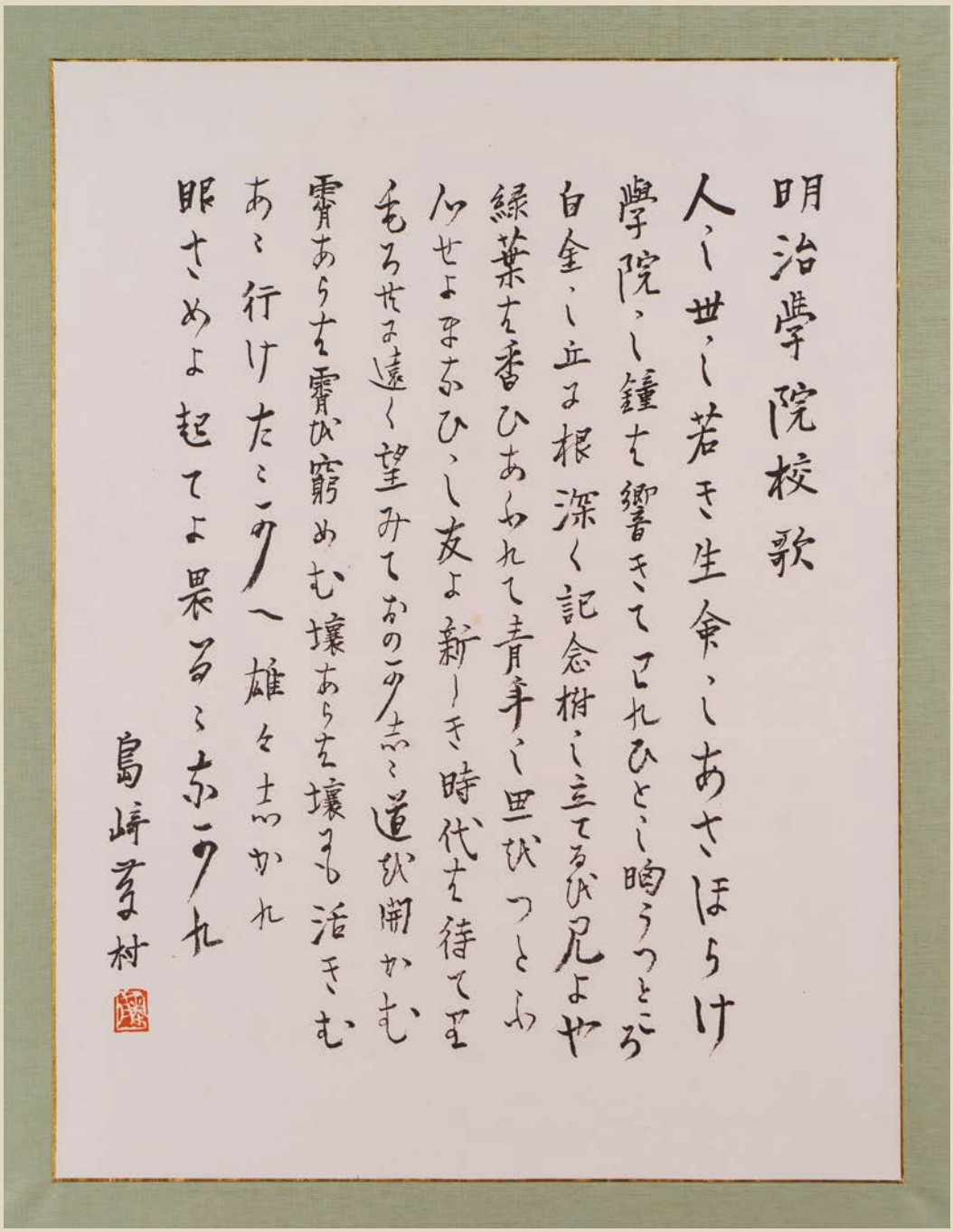
企画：明治学院同窓会　　制作：明治学院大学シネマ研究会

協力：小諸 藤村記念館・馬籠 藤村記念館・明治学院歴史資料館・明治学院大学グリークラブ

明治学院同窓会事務局　〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37　TEL 03-5421-5190 FAX 03-3441-0970

（事務取扱い時間 9:00～16:00）　メール：meijigakuin@meijigakuin-dosokai.jp ｜ http:meigaku-dosokai.jp

島崎藤村生誕一五〇年



明治學院校歌

人の世の若き生命のあさぼらけ
學院の鐘を響きて吾れひとり眺うつところ
白金の丘に根深く記念樹の立てるぞ見よや
緑葉を香ひあふれて青雲の世につとふ
仰せよまことひの友よ新しき時代を待てよ
もろもろの遠く望みておのが志の道ぞ開かむ
霄あらを霄ぞ窮めむ壤あらを壤をも活きむ
あゝ行けたゞこの身一雄々しかれ
眼さめよ起てよ果てゝ赤心の丸

島崎藤村

出典：明治学院歴史資料館